

# 天草誕生のストーリー

天草の島々は過去1億年の地球の歴史を記録しており、その成り立ちは一言では語れません。天草諸島がどのようにして出来たのか、異なる4つの時代を背景にした11の物語で解説します。

## 第1章 恐竜時代の陸と海 (地質時代:中生代白亜紀)

### ストーリー 1 恐竜王国

最初は、天草の最も古い岩石と恐竜をはじめとする白亜紀に生きた生物を化石として含む地層形成の物語から始まります。中生代白亜紀後期(約1億年前)の天草は海に近接する陸地から海で、多くの生物が生息していました。地下深い場所にあった岩石よりなる大地には、ワニやカメのすむ川が流れ、植物が森をつくり、陸上の支配者である植物食や肉食の恐竜たちが生活していました。陸地のすぐ近くには海があり、多くの貝類やアンモナイトが群れ、それを補食するサメや首長竜がすむ世界が広がっていました。



恐竜の棲む陸上の世界



浅海の世界



深く暗い海の底



陸上となった時期

### ストーリー 2 アンモナイトの海

恐竜時代の終わりに近い白亜紀後期(約8,500万年前)、恐竜たちの歩いた陸地は日の光も余り届かない深く暗い海の底になっていました。海底にはアンモナイトや大型の二枚貝が生息し、時折、砂と共に浅い海底にすむ生き物の殻が運ばれていました。海が浅くなり陸上となった時期には、恐竜がこの地を訪れていたようです。天草東海岸と天草西海岸では恐竜やアンモナイトをはじめとする多様な化石が見つかっています。

## 第1章に関連する「見どころ」

### 5 たかど 高戸の白亜紀化石 所在地 上天草市龍ヶ岳町



海水浴場脇に露出している姫浦層群の島層からは、貝類とアンモナイト類化石が多く産出。海岸の露頭や石の中に化石を見つけることができます。注意深く見てみると、サメの歯化石が見られることもあります。

### 6 いくしま 桐島のアンモナイト産地 所在地 上天草市龍ヶ岳町



姫浦層群の中でも、最もアンモナイト化石を産出するスポット。(※)黒色頁岩にアンモナイトやイノセラムスなどの軟体動物、またサメの歯などの魚類化石が見られることで知られています。  
※黒色頁岩:堆積した面に沿って薄く割れやすい性質をもった泥岩のこと。

### 12 アンモナイト館 所在地 天草市御所浦町



直径60cmもある巨大アンモナイトが、まるで海底に横たわっているように展示。そのサイズは九州最大と推定されています。また、展示館の周辺は希少な植物や昆虫の生息場であり、これらを観察することができます。

### 13 べんでんじま 弁天島の恐竜足跡発見地 所在地 天草市御所浦町



平成9年5月、九州で初めてとなる恐竜の足跡化石が、無人島の弁天島で発見されました。その大きさは38cmで、5m前後の肉食恐竜のものと考えられています。現地では足跡化石を型取りした複製を設置しています。(実物は御所浦地区コミュニティセンターで展示)

### 14 きょうどまり 京泊の恐竜化石発見地 所在地 天草市御所浦町



天草で最初に恐竜化石が見つかった場所です。平成9年3月、当時の御所浦町から依頼を受けた高知大学のグループが、植物食恐竜の足のスネ部分の化石を発見しました。現在でも、小さな骨化石が現地に見られます。

### 15 採石場跡地の断層と化石層 所在地 天草市御所浦町



約1億年前の浅い海でできた地層が採石によって崖となった場所です。地層からは当時生息していた貝類などの海の生き物の化石が見つかります。この崖を海上から見ると、断層により地層がずれていることがわかります。

### 16 スフェノセラムスの壁 所在地 天草市御所浦町



傾いた地層の表面には、約8,500万年前の二枚貝化石「スフェノセラムス」をはじめ、アンモナイト、そしてクモヒトデの休息痕や海底をはい回った多様な生物の痕跡(生痕)化石を観察することができます。

### 18 御所浦町前島の地質と化石 所在地 天草市御所浦町



前島は様々な地質現象が見られます。東海岸には天草地域で最も古い花崗閃緑岩類が、姫浦層群に覆われます。また、西海岸ではアンモナイトなどの化石がよく見つかり、化石を保護した露頭「イノセラムスの壁」があります。

### 20 西平橋公園の高浜(長崎)変成岩類 所在地 天草市天草町



天草町大江から高浜にかけて分布する高浜(長崎)変成岩類は、白亜紀の岩体で、長崎県の野母崎半島と関連する地層です。公園からは同じ変成岩類の大ヶ瀬を望むことができます。春先には約2万本のヤブツバキの花が山の斜面を覆います。

### 21 いくさがうら 軍ヶ浦海岸恐竜化石発見地 所在地 天草市天草町



約7,500万年前の植物食恐竜の足跡と歯が貝類化石と共に発見されています。天草西海岸に分布する姫浦層群では、当時陸上に近い環境があったことがわかります。今後も、重要な化石の発見が期待できる場所として調査を進めています。

### 33 牛深大島 所在地 天草市牛深町



牛深地域から見える景観の中で最も大きな島です。島の海岸には姫浦層群が露出し、絶滅したカキ化石や貝類化石などが産出しています。1974年に島の住民が集落移転し、現在は無人島となっています。

### 35 みょうけんうら 妙見浦 所在地 天草市天草町



天草西海岸は20~80mの海蝕崖(かいしょくがい)が連続します。天草西海岸を代表するのが国指定名勝の妙見浦です。ゾウが海に向かって歩いているように見える穴の口岩は、トンボロとよばれる幅の狭い浅瀬で繋がっており、日本奇岩百景にも登録されています。